

第9回 市民と市長のふれあいトーク ご意見一覧(要約)

第1部		
吉祥寺南病院の建て替え		
	ご意見(事前に書面で出されたものも含みます)	市の回答・対応方針 (当日の市長や部長の発言要旨を入力してあります)
1	<p>吉祥寺南病院の建て替えに期待と希望を持っている。スタートが早く切れるように行政の力を発揮してほしい。</p> <p>吉祥寺南病院の建て替えについて、移転先の容積率が問題になっていると聞いた。どういふことか。</p> <p>吉祥寺東町に住んでいるが、吉祥寺南病院の建て替えのことなど知らなかった。現在の進捗状況、何が課題なのか教えてほしい。</p> <p>武蔵野赤十字病院にたくさん補助している目的は何か。</p> <p>MRIのある病院はあるが、PET-CTのある病院が少ない。PET-CT導入費用などに補助するとよい。</p> <p>(注)PET-CTとは、全身の細胞の動きから、がんを見つけ出す最新の検査方法で、病巣部を速やかに診断する「PET画像」と細かな位置情報を見つける「CT画像」が一つになったシステムです。</p>	<p>市の回答・対応方針 (当日の市長や部長の発言要旨を入力してあります)</p> <p>民間事業者である吉祥寺南病院と森本病院の経営者が合同で新病院建設を予定している。</p> <p>病院の建て替えにあたっては、用途地域や容積率といった建築のルールがあり、高層の建物は建てられないなどの制限があることなどが課題となっている。</p> <p>他市では、用途地域を変更して建て替えを実現した事例や、病院が少ない地域に行政が市民病院を建設した事例もある。市民病院がない本市においては、現在ある病院の公共性は高い。吉祥寺南病院が地域に果たす役割を考えると、市が用途地域を変更して建て替えを実現するという手法もあるが、用途地域を変えることは近隣への影響が非常に大きいので、総合的に検討を進める必要がある。</p> <p>近隣住民だけでなく、多くの方のご意見を伺いたい。</p> <p>武蔵野赤十字病院とは平成31年3月に新病棟建設に伴う市民病院的役割の充実に関する協定を締結している。がん医療対策についてPET-CTの導入、がん患者の就労を目的としたがんサロンの設置ほか、協定に基づきこれまで以上に市民病院的役割を果たしてほしいという思いで、建設費補助を行っている。</p>
吉祥寺駅南口再開発について		
2	<p>吉祥寺駅南口の再開発について、再開発というと大きな施設を作るイメージがあるが、大規模施設は将来にわたって維持や改修等の費用が発生する。北口の商業エリアとは異なり、南口は井の頭公園や市民の住宅地が広がっている。緑を活かし、高齢者、障害者、子ども連れの家族に優しい、身の丈に合ったまちづくりを進めてほしい。</p> <p>現在の再開発計画と進捗状況を教えてほしい。</p> <p>吉祥寺駅南口再開発準備組合で市街地再開発事業に賛成の立場で運動している。</p> <p>狭い道をバスが通る危険性、建物の老朽化、耐震の問題がある。</p> <p>平成12年に交通広場をつくる都市計画決定をしたが、地元の賛同を得られず実現できていない。</p> <p>安全できれいなまちづくりをしてほしい。</p> <p>第六期長期計画の特別委員会で陳情が採択されたが、長期計画には反映されているのか。</p> <p>また令和2年度予算に盛り込まれているか。</p> <p>駅前ビル群が大地震で倒壊したらどうするか心配。一刻も早く解決してほしい。</p> <p>再開発準備組合の力だけでは難しいので、行政の力を借りたいと願っている。</p> <p>交通広場を作る計画があるとのことだったが、こうした動きがあることを知らない市民も多い。大勢の意見を聞いてほしい。</p>	<p>「再開発」という言葉は定義が曖昧。吉祥寺駅南口エリアに課題があることは認識している。市では現在、駅前広場の整備に向けて地権者の意見を聞きながら、用地買収を進めており、バスの運行経路を変えて、今よりも安全な形にしたいと考えている。</p> <p>建物の共同化(複数の権利者が建物を一体的に整備して効率的に利用すること)と市街地再開発事業(敷地を大街区化し、広い空地を確保したうえで、都市計画の範囲を超えた大きな建物を建設すること)は必ずしも同義ではない。井の頭公園の玄関口である吉祥寺駅南口をどういうまちにするのか、大きな議論が必要と認識している。</p> <p>特別委員会で陳情は複数あり、どの陳情が特定されていないが、例えば「第六期長期計画に吉祥寺パークエリアの課題解決に向けて面的なまちづくり将来構想を検討する旨を盛り込むことに関する陳情」については採択され、長期計画の「エリア特性を生かしたまちづくりの推進」の中で、「エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりと一体的な検討を進める」(計画案p60)という記述を加えるなどの対応をしている。</p> <p>令和2年度の予算の具体的中身については、市議会での審議を経てから決定するので、今しばらくお待ちいただきたい。</p> <p>老朽化した建物の耐震改修は一義的には所有者が行うべき。ただし、公共性を鑑みて耐震改修費用の補助制度を設けている。災害時に倒壊して特定緊急輸送道路をふさぐような建物であれば、通常よりも手厚く助成している。</p> <p>個人の所有物に税金を投入するには市民の合意が必要。公共性がある、すなわち多くの人の利益につながるとらえるかは全市民的な議論が必要。</p>
3	<p>都市計画マスタープランの意見交換会が開催中だが、職員が地域の中に出てきて住民と直接対話しているところが良い。</p> <p>行政の職員も現場に足を運んで、具体的に現場を見て、まちづくりに生かしてほしい。</p>	<p>都市計画マスタープランだけでなく、吉祥寺グランドデザインの改訂などにおいても吉祥寺のまちづくりの将来像について職員が住民の意見を聞く機会を設けている。ごみ収集のように民間委託している業務についても、事業者から報告を受けるだけでなく、職員が現場を知ることにより課題を共有できる。職員にもできるだけ町中に出るように伝えている。地域と同じ目線で活動することが大切と思っている。</p>

第2部		
	ご意見(事前に書面で出されたものも含みます)	市の回答・対応方針(当日の市長や部長の発言要旨を入力してあります)
4	第三小学校を拠点として南町防災ネットワークで活動している。第三小学校の体育館はバリアフリーになっていない。選挙の投票所になっていたところはスロープが設置されていたが、投票所があそべえに移った際に、スロープも撤去されてしまった。災害時等のことも考え、バリアフリー化してほしい。	以前にあったスロープは老朽化により廃棄したが、新たに購入したスロープが学校にある。必要に応じて事務室にお声かけいただければ、使用可能。
5	ふるさと納税制度について、返礼品競争という悪い制度になっている。本来税金はごみ処理など自分たちが享受するサービスに対する対価を払うべきもの。 ①流出した金額はいくらか。 ②本来入るべき税金の何パーセントが流出したのか。 ③武蔵野市は流出に対してどのような対策をしているか。	①令和元年度課税で市町村民税が約6億7,000万円減収している。平成30年度課税では約5億円減収だった。減収額は年々増加している。 ②市の予算総額(約680億円)に占める割合は約1%、市税(約411億円)に占める割合は約1.6%、個人市民税(約177億円)に占める割合は約3.8%となる。 ③都内の市町村のほとんどがふるさと納税制度により税金の流出に苦慮している。東京都市長会ではこれまで制度の見直しを要望してきた。返礼品競争が激化し、各自治体が対策に乗り出す中、昨年6月に総務省が、金券など不適切な返礼品はふるさと納税制度の対象としないなどのルールを示した。過度な返礼品競争には一定の歯止めがかかったことを受け、本市でも昨年10月よりふるさと納税制度を活用した「ふるさと応援寄附」を開始した。 高齢者支援やケヤキ並木等の街路樹保全への寄附などのメニューがある。市内に足を運んでもらい、産業振興を図ることを目的として食事券なども返礼品に選定している。このような観点から、市の魅力発信や地域産業振興、財源確保の手段の一つとして、ふるさと納税制度を活用していく。
6	武蔵野青年会議所に興味のある若い人がいれば入会してほしい。若い人にまちづくりに参加してほしい。	ご意見として承る。
7	吉祥寺南病院建て替えの早期着手について、どのように受け止め、行政としてどのような支援をしているのか。	用途地域変更を検討している。用途地域の変更により、多くの人の権利に大きな影響を及ぼす。東京都や関係機関の意見も聞く必要もある。地域の医療体制が充実するということは用途地域変更の大義になりうるが、影響を受ける地権者の理解は不可欠。医療面だけでなく、防災面での機能も充実することを説明し、理解を得られるよう、市として努力していきたい。
8	吉祥寺南病院の建て替えはいつ始まり、いつ終わるのか。	民間の医療法人の建て替え事業なので、市が時期を特定する立場にはない。地域住民の理解が進み、用途地域変更等の条件が整備できてからになるかと思う。
9	妻が求職中だが、子どもを保育園に預けられないと就職できない。共働きで収入が安定している人より、収入が少なくこれから仕事を探す人の方が点数が低くなっている。求職中でも近くに実家がある人はよいが、親の助けがなく仕事を探す場合、子どもを預けられないと困る。一律に点数で決めるのではなく、本当に困っている人に配慮してほしい。	認可保育園の入所は点数順になっている。求職中は点数が低くなっているが、親が近くにいる人はさらに点数が下がる。 認証保育所は、働いているかどうかは問わず、園と直接契約により入所する。認可保育園に入れない場合、認証保育所に預けながら仕事を探し、就職した段階で認可保育園に転園する方もいる。幼児教育の無償化がスタートし、認証保育所も対象になっている。 子どもは社会の宝であり、社会全体で見守っていくのが理想と考えている。 本来保育を必要とするすべての方が入れるのが望ましいが、現状は厳しい。令和2年4月に待機児童ゼロにするため、保育園新設を進めている。
10	保育園入所にあたり、書類が整っていれば、実際に仕事をしていなくても保育園に入っている人がいるのではないかと。子どもは宝。実態を調査し、本当に入りたい人が入れるようにしてほしい。	調査は日常的に行っている。保育園を希望する人は働いている人だけでなく、求職中の人、介護をしている人、学んでいる人、病気療養中の人、様々な家庭の事情がある。書類では見えてこない部分も現況確認をし、保護者の実態に寄り添いながら対応している。
11	回数券が3月いっぱいまで販売中止になり、来年いっぱいまで利用できなくなる。なぜ回数券がなくなったのか。	ムーバスが開通した平成7年は消費税3%である。その後、5%8%10%と上がっているが、値上げはせず、ワンコインで乗れる100円を継続している。 利用者はPASMOやSuicaなどICカードの利用者が増えている。回数券は紙代や印刷代、回収などに要する人件費などのコストがかかる。回数券廃止により消費税の値上げ分が相殺できる。100円を維持するための決断と理解してほしい。
12	ムーバスは各駅から住宅地を回っているが、吉祥寺南町から武蔵野赤十字病院や市役所へ行く交通手段がない。駅を越えてムーバスを運行してほしい。	ムーバスは公共交通機関が走っていない交通不便地域の住宅と駅を結ぶことを理念としている。民間のバスが走っている利便性の高い路線ではムーバスは並走しない。武蔵野赤十字病院や市役所へは民間のバスやJRをご利用いただきたい。
13	武蔵野公会堂が老朽化している。建て替えや使用目的の変更に難航していると聞かすが、どのようなところが課題となっているのか。建て替えの見通しを教えてください。 若い大学生からも吉祥寺駅から至近距離の一等地をもっと有効利用すべきとの意見があった。	公会堂は築60年を迎える歴史ある施設。老朽化しており、バリアフリーにもなっていない。しかし、単独で建て替えるとすると、公会堂は井の頭通りのような大通りに接道していないため、今と同程度の規模のものしか建てるのができない。近隣と合意形成が取れ、一体の街区で井の頭通りに面した形であれば、大規模改築も可能となる。単独で建て替えるのか、地域一体として建て替えるのかは今後の検討が必要。第六期長期計画においても、これからの文化施設の在り方検討委員会での検討を踏まえ、周辺街区のまちづくりの動向を注視しつつ(中略)まちづくりと一体的な検討を進める(計画案p60)と書いている。 公会堂にはホールと会議室としての機能があるが、今後未来にわたり、どのような機能が求められるのか、大規模な複合施設にするのか、単独建て替えるとするのか、住民の意見を聞きながら、調整していく。

文書で提出された意見(要約)		
	ご意見(事前に書面で出されたものも含まれます)	市の回答・対応方針 (当日の市長や部長の発言要旨を入力してあります)
14	外環地上部街路について、中間報告を受け、どのように評価しているか。	現在は、外環地上部街路の話し合いの会を休止され、東京都と構成員で中間まとめの取りまとめ作業を進められている段階であり、市も構成員として加わりながら、取りまとめの状況を注視している。
15	外かく環状道路の開通により、吉祥寺南町3丁目周辺の裏道の大渋滞が予想される。外環に反対はしていないが、周辺住民の安全と住環境が確保されるよう、周辺の交通対策を考えるべき。	外かく環状道路の開通による、生活道路への交通流入については懸念している。 事業者である国やネクスコ東日本・中日本へ、外かく環状道路が開通した後の交通量などについて、引き続き情報提供を求めていく。 将来の交通状況を踏まえて、事業者との適切な役割分担のもとで、必要な対策を検討・実施していく。